

二宮町下水道事業中期経営計画

(平成29年度～令和2年度)

中間報告

令和2年3月

二宮町都市部下水道課

目 次

I	はじめに	1
II	各指標の目標達成状況	2
	（1）事業経営の目標 ー達成状況ー	
	（2）中期指標 ー計画と実績の状況ー	
III	その他 計画と実績	3
	（1）財政収支計画	
	（2）主要整備計画	
	（3）投資計画	
IV	経営基盤強化への取組の現状	4
	（1）収入の確保	
	（2）経費の削減	
	（3）定員管理	
	（4）人材育成	
	（5）地方公営企業法の適用についての検討	
V	計画達成状況の公表	5
	（1）公表の方法等	
	（2）公表の内容	
	用語解説	6

本報告において、計画で「平成」と表記した年度について、改元にともない、一部「令和」と表記を変えています。

I はじめに

○ 二宮町下水道事業中期経営計画の中間報告について

本計画は施設の整備、維持管理、経営の方針や目標等を明らかにし、下水道事業の健全な経営と経営基盤の強化を図るための事業計画を示したものです。

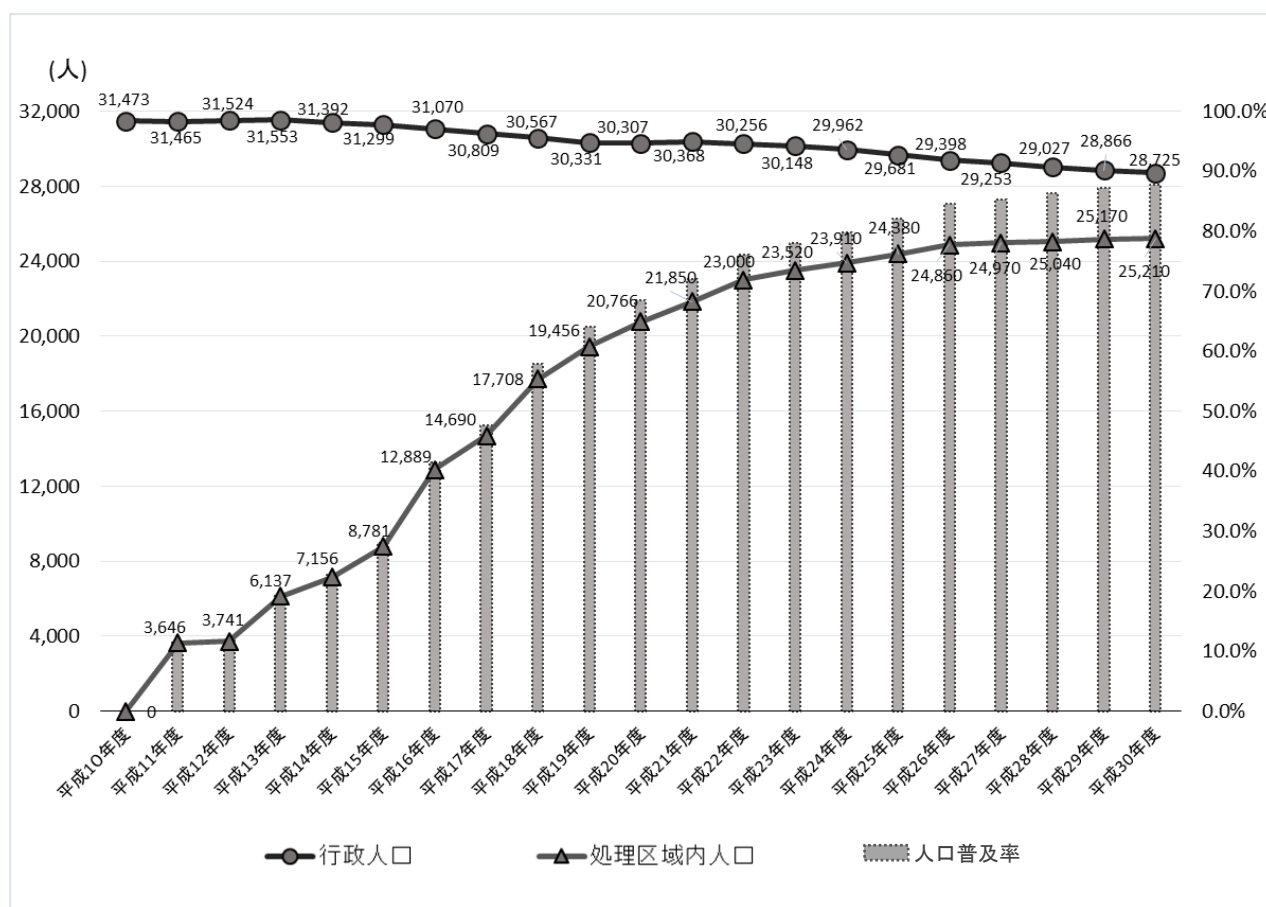
本計画の計画期間は平成29年度から令和2年度までとなっており、その達成状況について平成29年度、平成30年度の決算に基づき中間報告を行うものです。

○ 下水道事業の現状

本町の下水道は、酒匂川流域関連公共下水道として、平成2年に都市計画法及び下水道法の事業認可を取得し、平成3年から工事開始となりました。

平成30年度末の整備済区域面積は404.3haとなり、人口普及率は87.8%、水洗化率は76.8%となりました。

【行政人口、処理区域内人口と人口普及率の推移】



II 各指標の目標達成状況

指標として設定した事業経営の目標および中期指標について、その達成状況を下表のとおり報告します。

(1) 事業経営の目標 ー達成状況ー

項目	平成30年度 (中間報告)	令和2年度 (目標)
処理区域内人口	25,210人	26,000人以上
人口普及率	87.8%	90%以上
水洗化率	76.8%	78%以上
経費回収率	98.4%	75%以上
町債残高	56億円	51億円以下

(2) 中期指標 ー計画と実績の状況ー

項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人口普及率 (%)	計画			86.8	88.5
	実績	85.6	86.5	87.2	87.8
水洗化率 (%)	計画			75.5	76.4
	実績	74.6	75.0	75.9	76.8
使用料単価 (円/㎡)	計画			149	150
	実績	134	144	150	148
汚水処理原価 (円/㎡)	計画			185	188
	実績	186	187	151	150
経費回収率 (%)	計画			79.0	80.0
	実績	71.8	77.6	99.5	98.4
年間有収水量 (千m ³)	計画			1,800	1,817
	実績	1,777	1,790	1,801	1,815

平成29年度および平成30年度の実績では、経費回収率が目標値を大きく上回っています。これは汚水処理に要する経費の算定において、総務省より一部費目の算定方法に係る見解が示され、それに基づき算定した結果、汚水処理費が縮小したためです。その他、平成30年度末時点で概ね計画に近い実績となっています。今後とも、供用開始通知文書のポスティング、下水道整備済区域の未接続世帯に対する接続勧奨を実施し水洗化率の向上に努める等、令和2年度目標の達成に向けた取り組みを続けます。

Ⅲ その他 計画と実績

(1) 財政収支計画

① 収支計画

(単位：千円)

項目			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
収 入	受益者負担金 (分担金を含む)	計画		13,521	15,301	27,000
		実績	13,290	11,348	18,607	17,303
	下水道使用料 (手数料を含む)	計画		255,658	268,197	272,759
		実績	238,248	263,596	270,259	268,671
	国庫補助金	計画		105,000	95,500	85,000
		実績	98,000	105,000	95,500	80,000
	一般会計繰入金	計画		384,922	400,380	428,066
		実績	411,428	386,646	390,226	375,147
	町債	計画		179,500	183,600	148,000
		実績	184,100	168,500	151,000	178,500
	その他	計画		15,005	6,005	8,005
		実績	15,143	5,471	19,069	30,158
	合計	計画		953,606	968,983	968,830
		実績	960,209	940,561	944,661	949,779
支 出	維持管理費	計画		196,918	207,594	205,618
		実績	199,043	186,328	194,594	190,265
	整備事業費	計画		233,027	228,054	215,982
		実績	245,624	223,938	205,488	212,192
	公債費	計画		523,661	533,335	547,230
		実績	507,262	519,949	531,124	541,755
	合計	計画		953,606	968,983	968,830
		実績	951,929	930,215	931,206	944,212

②起債残高

(単位：千円)

項目			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
町債元金残高	計画			6,132,000	5,910,000	5,632,000
	実績	6,337,973	6,121,211	5,866,727	5,619,596	

(2) 主要整備計画

事業名		事業期間	事業概要
汚水枝線整備	計画	平成 29 年度～ 令和 2 年度	釜野・百合が丘 1 丁目・中里地区の枝線管渠整備を行います。
	実績	平成 29 年度、 平成 30 年度	釜野・百合が丘 1 丁目・中里地区の枝線管渠 (16.98 ha) を整備しました。

(3) 投資計画

(単位：千円)

事業名		平成 29 年度	平成 30 年度
汚水枝線整備	計画	206,220	200,000
	実績	193,342	206,636

IV 経営基盤強化への取組の現状

(1) 収入の確保

① 供用開始区域の拡大と下水道接続促進の強化

下水道アクションプランの整備計画を基に整備を進め、供用開始区域の拡大を図りました。今後とも、供用開始通知文書のポスティング等による新規接続促進に努めます。

② 収納率の向上

受益者負担金については、平成 30 年度の収納率は 99.3% です。町税収納担当課と連携を図りながら、引き続き催告および督促を行い、収納率の向上を目指します。

下水道使用料の徴収については、平成 15 年度より上下水道一括納付委託を県営水道区域の他市町村と共同で実施しており、平成 30 年度の収納率は 96.6% となっています。

③ 使用料の適正化

料金水準が適切であるかを示す経費回収率は、現在の使用料水準でほぼ 100% に達しています。住民への負担が過度にならないよう留意しつつ、下水道事業の経営状況や町の財政状況を注視し、使用料の適正化に努めます。

(2) 経費の削減

① 民間活力の活用

当町で排出された汚水は、酒匂川流域下水道の酒匂水再生センターで処理されています。今後も適正で効率的な維持管理がなされるよう、引き続き神奈川県や施設管理を受託して

いる公益財団法人神奈川県下水道公社、流域関連市町と連携を図ります。

②ストックマネジメント導入に向けた取り組み

平成30年度に、ストックマネジメント計画策定の一環として、築40年を超える管渠等を対象にカメラ調査を実施しました。ストックマネジメント計画の策定は令和元年度を予定しています。

③不明水の削減

経費増加の原因となる不明水流入を防ぐため、劣化しにくい材質で管渠を築造しています。また、マンホール内や管渠の継手部分の目視による地下水流入の有無の確認や、排水設備工事の完了検査において雨水流入の有無など、接続工事が正しく行われたかを確認しています。

④工事コストの削減

競合工事における舗装復旧費の低減調整や小型マンホールの活用等を通じ、適切な工法による工事コストの削減に努めます。

(3) 定員管理

職員数は、引き続き適正な定員管理に努めます。

(4) 人材育成

知識の共有および継承を行うとともに、専門研修への参加等を通じて幅広い知識を持つ人材の育成に努めています。

(5) 地方公営企業法の適用についての検討

総務省より新たなロードマップが示され、人口3万人未満の自治体における下水道事業も令和5年度までに地方公営企業会計に移行することとされました。具体的な手法や適用時期の検討を進めています。

V 計画達成状況の公表

(1) 公表の方法等

最終報告は令和3年10月以降に、町ホームページで公表します。

(2) 公表の内容

中期経営計画に示した計画数値と実績値を比較した達成状況を報告します。

用語解説

用語	解説
町債	公共下水道を整備するために必要な財源の不足分を、年度を越えて長期（1年以上）に借り入れるお金のこと。
人口普及率	下水道事業の進捗を表す指標。 下水道を利用できる区域内の人口÷行政人口
水洗化率	下水道を利用できる区域内の人口に対して、下水道に接続している人口の割合。
有収水量	下水道使用料の対象となる水量
使用料単価	1 m ³ の汚水に対し、いくら使用料を徴収しているかを表す。 使用料収入÷年間有収水量
汚水処理原価	1 m ³ の汚水をいくらの経費で処理しているかを表す。 汚水処理費÷年間有収水量
経費回収率	汚水処理にかかる施設の維持管理費や資本費が、どれだけ使用料で賄われているかを表す。 使用料単価÷汚水処理原価